

長崎県の美しい景観づくり



長崎の教会群とキリスト教関連遺産 構成資産の位置図

- 構成資産
- 緩衝地帯



平戸島の聖地と集落



田平天主堂



黒島天主堂



大野教会堂

旧野首教会堂と関連遺跡

黒島天主堂

頭ヶ島天主堂

江上天主堂

大野教会堂

出津教会堂と関連遺跡

旧五輪教会堂

出津教会堂と関連遺跡



大浦天主堂と関連施設

日野江城跡

原城跡

原城跡、日野江城跡



大浦天主堂と関連施設

天草の崎津集落



天草の崎津集落



旧野首教会堂と関連遺跡



頭ヶ島天主堂



江上天主堂



旧五輪教会堂

長崎県内の景観



教会(佐世保市黒島)



棚田(平戸市大島)



武家屋敷(雲仙市神代)



18世紀頃の長崎港

長崎港の変遷



1994年の長崎港内



2014年の長崎港内



長崎港内(2013年)



長崎帆船まつり



出島ワーフ



長崎県美術館



水の劇場



「世界新三大夜景」に認定された長崎の夜景

朝鮮通信使のユネスコ記憶遺産 登録推進への取組



朝鮮国信使絵巻 「長崎県立対馬歴史民俗資料館所蔵」

～江戸時代の日朝外交・朝鮮通信使～



朝鮮国信使絵巻(部分)「長崎県立対馬歴史民俗資料館所蔵」



対馬藩宗家資料
「長崎県立対馬歴史民俗資料館所蔵」

【江戸時代の日朝外交】

- ・朝鮮通信使とは、漢陽(ハニャン)と呼ばれた現在のソウルから国王の信書を携え、釜山の港から日本に派遣された500人規模の大使節団。
- ・12回の朝鮮通信使が来日し、華やかな行列が道中をにぎわすと共に、文化交流も深まった。
- ・対馬藩(宗家)は外交の実務を担い、国交回復交渉から江戸時代を通して外交・貿易を展開し、両国の関係維持に尽力。

～ 現代の朝鮮通信使関連行事 ～



釜山朝鮮通信使祭り対馬藩武士団行列



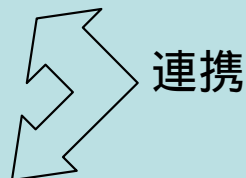
対馬厳原港まつり朝鮮通信使行列



朝鮮国信使絵巻(部分)「長崎県立対馬歴史民俗資料館所蔵」

～ 朝鮮通信使のユネスコ記憶遺産登録への取組 ～

【日本側】朝鮮通信使縁地連絡協議会
(事務局: 対馬市)
【韓国側】釜山文化財団



連携



共同申請

【目標】
日韓国交正常化50周年である
2015年に共同推進を表明
2016年、ユネスコ事務局に
推薦書提出
2017年、記憶遺産登録

長崎県、釜山市が積極的支援

《支援》

朝鮮通信使交流議員の会 (日本側国会議員)
朝鮮通信使議員連盟 (韓国側国会議員)

.....

2014.5.21 朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産
日本推進部会 発足

2014.6.16 韓国推進委員会 発足

2014.8.25 日韓合同推進会議(下関市)開催

2015.2頃 国際シンポジウム(長崎県)開催



朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本推進部会

～ 韓国との交流の今～

釜山港から対馬比田勝港(対馬市)までわずか1時間の船旅
年間18万人もの多くの方々が対馬を訪問



旧鯛ノ浦教会(新上五島町)を訪れる韓国からの巡礼者

未来を担う日韓青少年育成事業「日韓未来塾2014」



ご清聴ありがとうございました

